

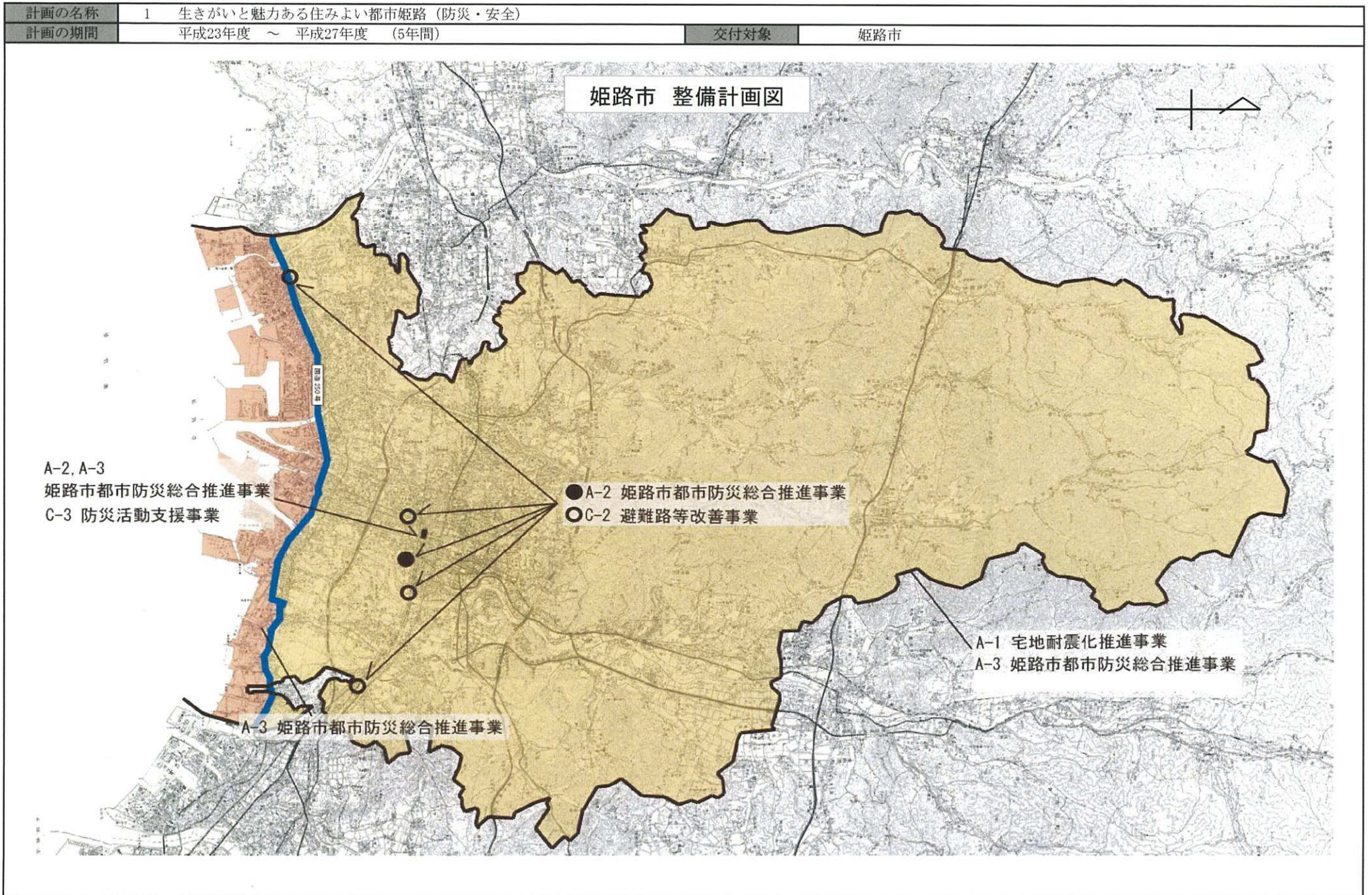
社会資本総合整備計画（第4回変更）

平成27年11月10日

計画の名称	生きがいと魅力ある住みよい都市姫路（防災・安全）																																						
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	姫路市																																
計画の目標	東日本大震災を教訓として、「安全・安心で快適な都市づくり」の観点から、東南海・南海地震等の大規模地震へ対応するため、都市の防災機能の向上を図り、自然豊かで快適な環境・利便都市の実現を目指す。																																						
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姫路市内において、防災マップの策定や防災訓練を行うなど、自主防災組織を中心とした防災・減災対策の検討を行う。</li> <li>・ 網干地区における津波による想定浸水区域内の避難者を地域防災拠点【避難所】（網干支所）が収容できる区域を324haから450haに増加（網干地区浸水予想区域面積600ha）</li> <li>・ 姫路市内の大規模盛土造成地の抽出調査を実施し、マップを作成する。</li> <li>・ 姫路駅前における防災訓練参加者数1,000人を目指す。</li> </ul>																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災マップの策定や防災訓練の実施により、姫路市内の自主防災組織による活動件数を20%向上させる。</td> <td>711件</td> <td>800件</td> <td>860件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>津波発生時に想定されている浸水区域内の避難者を地域防災拠点【避難所】（網干支所）が収容できる区域を測定する。</td> <td>324 ha</td> <td>324 ha</td> <td>450 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大規模盛土造成地マップを作成し、2次スクリーニングに向けた検討を行い、姫路市全城（53,444ha）に対するマップ作成区域の割合を測定する。</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>姫路駅前における年間の防災訓練参加者数を測定する。</td> <td>0人/年</td> <td>100人/年</td> <td>1000人/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	防災マップの策定や防災訓練の実施により、姫路市内の自主防災組織による活動件数を20%向上させる。	711件	800件	860件		津波発生時に想定されている浸水区域内の避難者を地域防災拠点【避難所】（網干支所）が収容できる区域を測定する。	324 ha	324 ha	450 ha		大規模盛土造成地マップを作成し、2次スクリーニングに向けた検討を行い、姫路市全城（53,444ha）に対するマップ作成区域の割合を測定する。	0%	80%	100%		姫路駅前における年間の防災訓練参加者数を測定する。	0人/年	100人/年	1000人/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																																				
防災マップの策定や防災訓練の実施により、姫路市内の自主防災組織による活動件数を20%向上させる。	711件	800件	860件																																				
津波発生時に想定されている浸水区域内の避難者を地域防災拠点【避難所】（網干支所）が収容できる区域を測定する。	324 ha	324 ha	450 ha																																				
大規模盛土造成地マップを作成し、2次スクリーニングに向けた検討を行い、姫路市全城（53,444ha）に対するマップ作成区域の割合を測定する。	0%	80%	100%																																				
姫路駅前における年間の防災訓練参加者数を測定する。	0人/年	100人/年	1000人/年																																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	162 百万円	A	133 百万円	B	0 百万円	C	29 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		17.9 %																												
<b>交付対象事業</b>																																							
<b>A 基幹事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H23	H24	H25	H26	H27																										
A-1	防災	一般	姫路市	直接	姫路市	宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地の抽出調査（53,444ha）	姫路市						19																									
A-2	防災	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路市都市防災総合推進事業	防災まちづくり拠点施設整備（1,19ha）	姫路市						89	別添1																								
A-3	防災	一般	姫路市	直接	姫路市	姫路市都市防災総合推進事業	防災マップ作成（61地区）・防災マップ作成 等	姫路市						25	別添1																								
合計													133																										
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H23	H24	H25	H26	H27																										
合計													0																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																												
<b>C 効果促進事業</b>																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																								
									H23	H24	H25	H26	H27																										
C-2	防災	一般	姫路市	直接	姫路市	避難路等改善事業	浸水検知システム整備（4箇所）	姫路市						27																									
C-3	防災	一般	姫路市	直接	姫路市	防災活動支援事業	エレベーター設置	姫路市						2																									
合計													29																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																												
C-2	姫路市都市防災総合推進事業（A-2）と一体的に実施することにより、災害発生時の避難路等の安全確保を行い、地域防災力の向上を図る。																																						
C-3	姫路市都市防災総合推進事業（A-2）と一体的に実施することで、災害発生時における防災活動用資材の搬出入に活用することにより、地域防災力の向上を図る。																																						



(参考図面)





# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 生きがいと魅力ある住みよい都市姫路(防災・安全)

事業主体名: 姫路市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関係法令等との適合等	
1)まちづくりの目標が関係法令等の目的と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○